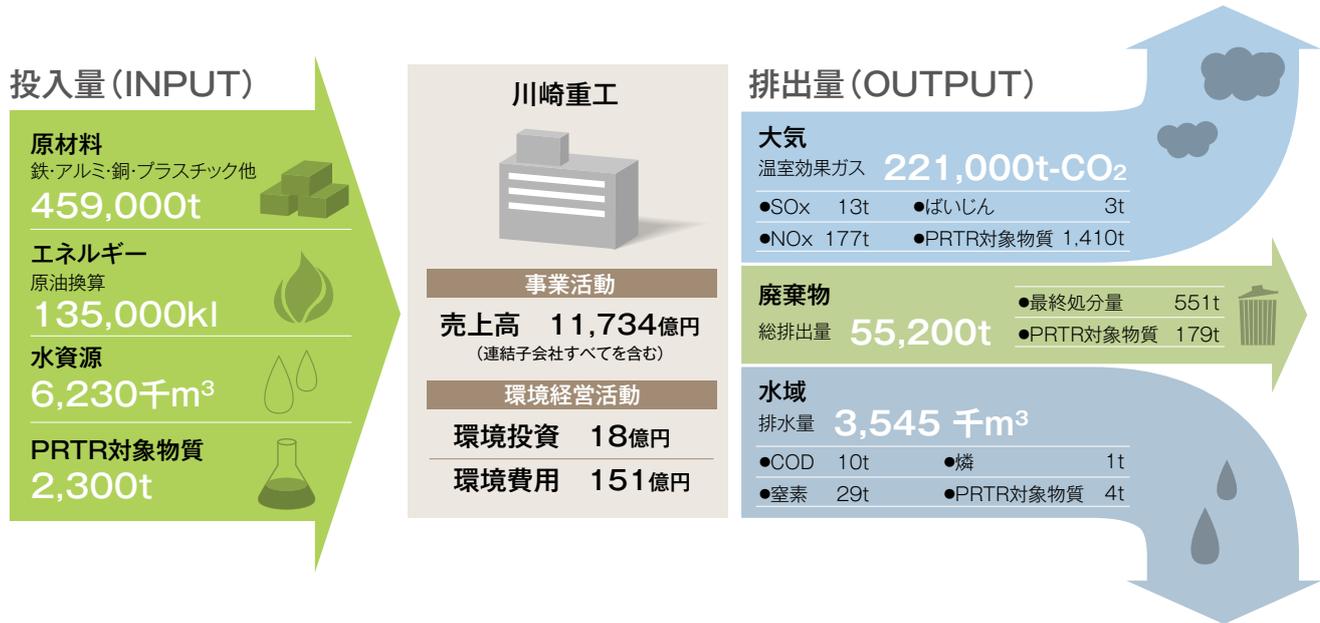


事業活動のマテリアルバランス・環境会計

2009年度の事業活動における環境負荷と環境会計についてまとめました。当社がさまざまな製品を製造する際に使用される原材料、エネルギー、水などの投入量と環境に負荷を与える物質の排出量を低減する活動に取り組んでいます。

2009年度事業活動のマテリアルバランス(環境負荷の全体像)



2009年度の環境会計集計結果

- ・集計に際しては、環境省『環境会計ガイドライン』を参考にしています。
- ・集計範囲：川崎重工業（株）
- ・対象期間：2009年4月1日～2010年3月31日

項目		環境投資	環境費用	経済効果	
事業エリア内コスト	地球温暖化防止 省エネルギー、温室効果ガス排出量削減、オゾン層破壊防止等	553	1,423	省エネ費用削減 240	
	資源有効活用 原材料・水等	153	199	省資源材料費削減 50	
	資源循環活動	資源循環活動 (リサイクル)	61	783	リサイクル収入 1,004
		廃棄物処理費用 (廃棄物処理)	9	178	廃棄物処理費削減 54
	環境リスク対応 (公害防止、遵法対応)	747	1,134	—	
	小計	1,523	3,717	1,348	
前年度比		94%	83%	61%	
上・下流コスト		90	2,777	0	
管理活動コスト		0	2,853	—	
研究開発コスト (製品、製造時などの環境負荷抑制)		47	5,497	—	
社会活動コスト		29	199	—	
環境損傷対応コスト (地下水対策等)		115	80	—	
合計		1,804	15,123	1,348	
前年度比		80%	107%	61%	

単位：百万円

項目	金額
当該期間の投資総額	57,964
当該期間の研究開発費総額	36,076

項目	割合
環境投資割合 (環境投資総額1,804/ 投資総額57,964)	3%
研究開発費割合 (環境研究開発費総額5,497/ 研究開発費総額36,076)	15%

物量削減効果については、「全社環境負荷データ(2009年度)」(20ページ)をご参照ください。